

防災ニュース

9月1日は「防災の日」です。
日本は世界有数の地震大国です。地震などの自然災害は、いつ、どこで起きるか予測できず、避けることができないのが実状です。しかし、災害による被害を最小限に抑えるよう、日頃から自分のことは自分で行い、地域のことは地域でできるような心がけ、もしもの時の「備え」としましょう。「災害は忘れたころにやってくる」「減災は日頃の備えと心がけ」

【家庭でできること】

- ▼非常持ち出し品・備蓄品の用意
リュックに入れ、すぐに持ち出せる場所に置きましょう。
- 停電や断水などにも備え、備蓄品も準備しましょう。

水、米、カップ麺などの食料

また、
寝室には家具を置かないように置きましょう。
置いている場合の就寝位置は、家具の転倒の恐れがない所に行きましょう。

▼家具の固定
震度5強の地震では、大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しい状況になります。そのため、転倒した家具の下敷きになったり、食器類が飛散したりして、けがの危険性が高まります。家具は、転倒防止器具で壁に正しく固定しましょう。

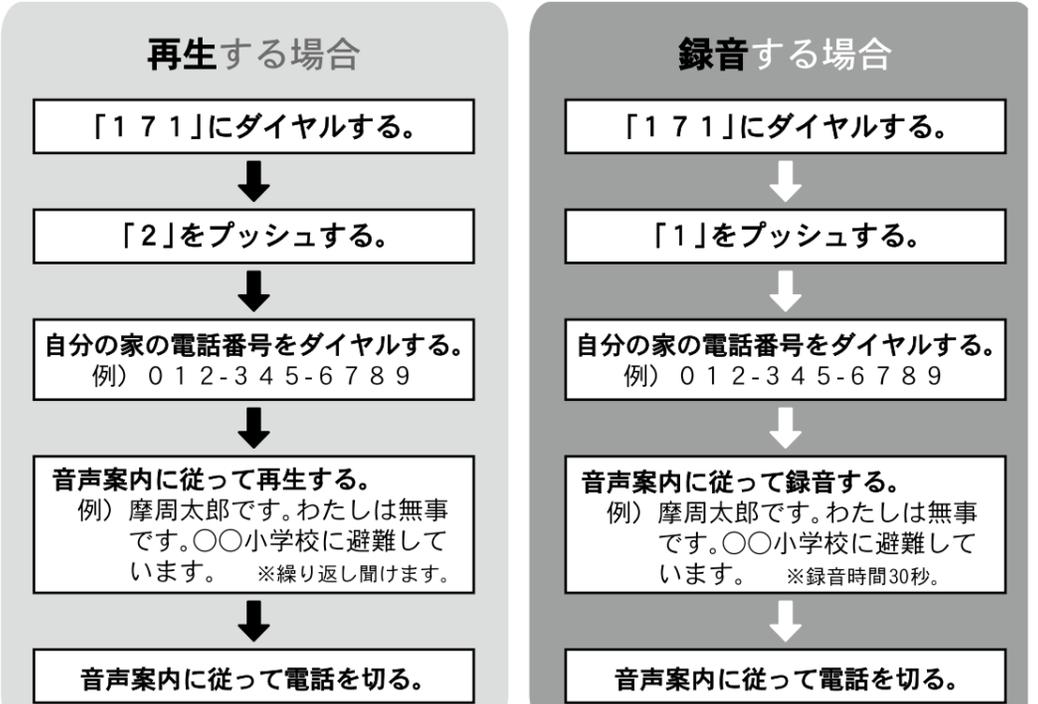
▼家の中で比較的安全な場所
トイレや風呂場は、落下物が少なく、耐震性が高い空間です。ただし、ドアが1つのため、避難路を確保することが大切です。

▼災害用伝言ダイヤル「171」
地震などが発生すると、安否の確認のため、皆さんの電話が使われ、電話が使えない状態が続きます。そんなときは「171」に電話します。「忘れてイナイ？」と覚えましょう。使い方については、下の図を参照ください。

▼災害用伝言板 (携帯電話)
【NTTドコモ】
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
【au】 <http://dengon.ezweb.ne.jp/SoftBank>
<http://dengon.softbank.ne.jp/WILLCOM>
<http://dengon.club.ne.jp>

【イー・モバイル】
<http://dengon.emnet.ne.jp/>

□ 問い合わせ先
役場総務課情報防災係 ☎ 4822-91 (内線307・308)まで。



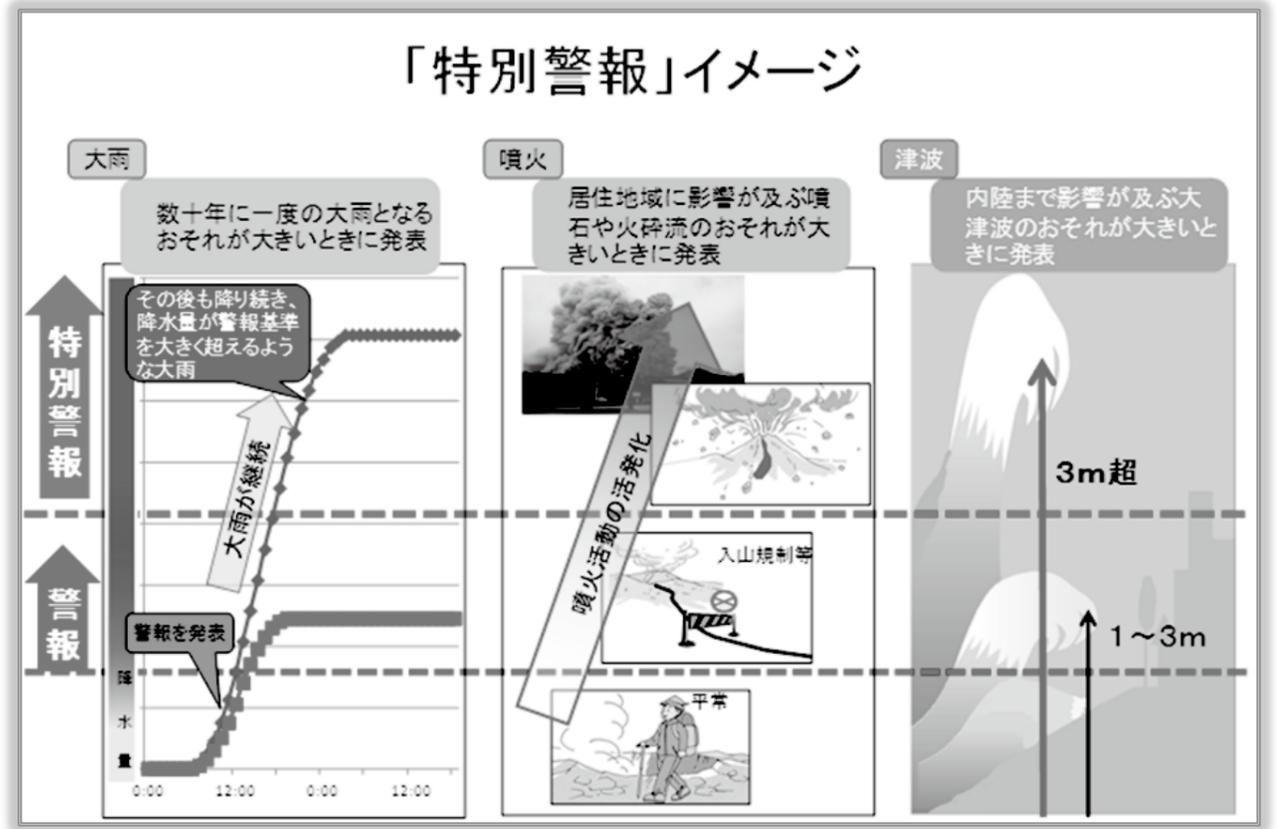
Jアラート全国一斉情報伝達訓練を実施します

- 平成25年度全国瞬時警報システム(Jアラート)による全国一斉情報伝達訓練が行われます。
- ▶日時/9月11日(水) 11時ころ・11時30分ころ
 - ▶実施要領/消防の放送設備(拡声器)・役場庁舎内の館内放送を通じて、音声の流れます。
 - ①試験放送(11時ころ)/チャイム~コールサイン~試験放送の連絡~コールサイン~チャイム
 - ②訓練放送(11時30分ころ)/チャイム~コールサイン~訓練放送の連絡~コールサイン~チャイム
 - ▶町民の皆さんへのお願い/今回は情報伝達のための訓練となりますので、避難など特別な対応は必要ありません。ただし、災害などが発生したときには、今回の試験放送と同様の音声の流れますので、警報システムの放送イメージを確認しておいてください。

問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 482-2191 (内線307・308)

8月31日から『特別警報』の発表が始まりました

気象庁では、これまでの大雨・津波・高潮などの「警報」に加え、新たに「特別警報」の発表を始めました。対象となるのは、東日本大震災時のような非常に高い津波や居住地に大きな影響のある火山噴火、これまでに経験がないような低気圧や台風による激しい豪雨、暴風など、異常な気象現象が発生した場合です。津波と火山噴火については、既にある大津波警報・噴火警報のうち、危険度が非常に高いものを特別警報として発表します。特別警報が発表された場合、お住まいの地域は一生のうちに何度も経験しないような非常に危険な状況です。屋外の状況や避難指示・勧告に留意し、命を守るために直ちに最善の行動を取ってください。従来の警報も、重大な災害の起こる恐れがある場合に発表しています。大雨などの被害を防ぐには、時間をおって発表される注意報・警報やその他の気象情報を活用し、早め早めの行動を取ることが皆さんや家族の命を守ります。詳細については、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>)でご確認ください。



問い合わせ先/釧路地方気象台防災業務課 ☎ 0154-5146